

「グリーンライフ」シラバス

単位数 2 (みどり環境コースの授業) 学科：林業緑地科 学年：2年生

1. 学習の目標

交流・余暇活動の展開に必要な知識と技術を習得させ、農業や農村のもつ多面的な機能と対人サービスの特性を理解させるとともに、交流、余暇活動を導入した経営の改善を図る能力と態度を育てる。

2. 授業の進め方

- ① コースに分かれての授業です。みどり環境コースの生徒がグループで活動ができるように班編成して、観察や実験・実習に対応できるようにします。
- ② 実際の・体験的な学習を重視し実践力を体得させる観点から観察や実験・実習を通して知識や技術を身につけさせます。
- ③ 実験・実習の時間が多いので実習服の準備を忘れないでください。又、筆記用具も準備してください。

3. 学習計画

学期	月	時数	単元名	学習内容	学習のねらい
1	4	6	第1章 「グリーンライフ」の世界	1 人間生活と「グリーンライフ」 2 「グリーンライフ」と交流・余暇活動型経営 3 「グリーンライフ」の学びの世界	◎グリーン・ツーリズムや観光農園などを活用した交流・余暇活動に関心を持たせる。 ◎「心の豊かさ」重視の国民的価値の転換について考察し、対人サービスの必要性について理解させる。
	5	6	第2章 農業・農村の機能の 発見と活用	1 農業・農村の魅力と「農」の世界を探る 2 自然環境と農業・農村の発見・活用 3 地域農産物の発見と栽培・加工	◎農業・農村の美しさを伝統を感じることができる資源の保全と整備に関心を持たせる。 ◎農業・農村、身近な自然について調査し、適切に表現できる能力を養う。
	6	8		4 農村文化の発見と活用 5 農業・農村体験の企画と指導・助言	◎自然環境や農業・農村のもつ機能の活用に関する基礎的・基本的な知識を理解させる。
	7	6		6 農業・農村の機能の総合的な活用	◎農村文化の活用と伝承について正確に理解させる。 ◎栽培・飼育など農業体験の指導について関心を持たせる。
2	9	8	第3章 グリーン・ツーリズム	1 グリーン・ツーリズムの特徴とあゆみ 2 グリーン・ツーリズムのおもな取組み 3 グリーン・ツーリズムの企画と運営 4 グリーン・ツーリズムと農業・農村生活の向上	◎グリーン・ツーリズムに関心を持たせる。 ◎インターネットなどを利用し、特徴あるグリーン・ツーリズムを調査し、発表できるようにする。 ◎グリーン・ツーリズムの企画・運営に関する基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。
	10	8		◎農業・農村のもつ多様な機能を活用した対人サービスについての知識を身に付けさせる。 ◎市民農園、観光農園に関心を持たせる。	
	11	8	第4章 市民農園	1 市民農園の特徴とあゆみ 2 市民農園の開設と運営 3 市民農園と農業・農村生活の向上	◎インターネットによる先進地調査を行い、その結果を適切に表現できるようにする。 ◎施設の整備と維持管理に関する基本的知識と技能を身に付けさせる。
	12	6			
3	1	6	第5章 観光農園、直売所	1 観光農園、直売所の特徴とあゆみ 2 観光農園の企画・開園と運営 3 直売所の企画・開設と運営 4 観光農園、直売所と 農業・農村生活の向上	◎農業・農村のもつ他面的な技能と対人サービスの特性について理解させる。 ◎地域における直売所を調査し、情報がどのように発信されているかを発表させる。
	2	4			
	3	4			

4. 評価の観点・方法について

評価の観点	内 容	評 価 方 法
関心・意欲・態度	・持ち物（忘れ物）や授業態度（発言や姿勢、私語や携帯、頭髪や服装）、遅刻や欠席など総合的に評価	学習用具の準備 授業への取組状況や態度 実習記録簿（自己評価）
思考・判断	・自分のやるべき事と立場を理解し、責任ある行動がとれるか、総合的に評価する。	レポート 発表の内容や方法
技術	・実習に積極的に取り組んでいるか。 ・既存の知識に加え、自分なりに工夫しているか。 ・実習等で、その行動や技術をレポートや態度によって、総合的に評価する。	生産物・農機具の取り扱い 実技試験 実習記録簿（自己評価）
知識・理解	定期考査（中間・期末）で、知識及び理解度を検査し、総合的に評価する。	定期試験・実験レポート 豆試験、農業鑑定の成績

その他

- ① 実験器具の安全な正しい取り扱いによる評価
- ② 定期試験、実技試験などによる評価
- ③ 学習ノート（学期2回）、実験・実習のノート（毎回）の提出による評価。
- ④ 出席、服装、態度など授業に取り組む姿勢